



インフォ・マート

Info Mart

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol. 111

究極の美しさと圧巻の超絶技巧
辻井伸行「ピアノ」

▼
P1

千住真理子「ヴァイオリン」▼ P3
三浦一馬「バンドネオン」▼ P5



NOBUYUKI TSUJII

究極の美しさと圧巻の超絶技巧

辻井伸行

[ピアノ]

ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール優勝から11年。抒情豊かな表現と卓越した演奏技巧で聴衆を魅了し続ける辻井伸行。《ロマン派》と題したりサイトを前に、ピアノとの出会いから現在の想いまで話を聞いた。

◆ピアノとの出会い／サイトを前にデビュー!?

2歳のとき、母の歌う「ジンゲルベル」に合わせておもちゃのピアノを弾き始めたそうです。よく自身記憶はありませんが、そのときのビデオが残っています。その頃からピアノを弾くことが大好きでした。4歳からピアノの先生に来ていただきレッスンを受けていましたが、ドビュッシーやクレイターマンなど好きな曲を弾かせてもらいました。5歳のときに家族旅行でサイトに行つた際、ショッピングモールのピアノが気に入り、店員さんをお願いして弾かせてもらいました。人前で弾いたのはそれが初めてでした！観光客の方々が抱きしめてくれたり、褒めてくださったことがきっかけで音楽家になりたいという思いが生まれたのだと思います。両親は音楽家でなかったですし、練習を強制することはありませんでした。むしろ、ぼくがご飯も食べずに弾き続けるので、やめさせるのに苦労したそうです(笑)。

◆ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール優勝

2005年にワルシャワのショパン国際ピアノ・コンクールに最年少で出場し、「批評家賞」をいただきました。2009年にはヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールに挑戦し、優勝することができました。でも、コンクールに出るときは、好きなピアノをたくさんの人に聴いてもらえることが嬉しくて、ほかのピアニストと競うとか、自分の演奏が審査されるとか、そういうことは考えませんでした。コンクールでもコンサートでも同じで、お客様が熱心に演奏を聴いてくださるのはステージからでもわかりますから、緊張はしませんでした。

◆「笑顔で会える日のために」

コロナウイルスの影響で、国内外での多くの演奏会が延期や中止になり、自分に何ができるかと一生懸命に考えましたが、やはり音楽で想いを伝えたいと思えました。自宅で過ごすなか、「笑顔で会える日のために」という即興曲を発表し、最新アルバムにも収録しました。コロナウイルスの終息と、皆様と笑顔でお会いできることを願って作曲させていただきました。2020年に予定されていたニューヨークのカーネギーホールをはじめ、様々な海外公演が延期されていますので、再び世界中で演奏できることを願っています。今後は、もっとレパートリーを増やしていきたいですし、これから

も皆様に愛されるピアニストでいたいと思っています。そして、いずればコンチェルトも作曲できればと思っています。

◆ロマン派の大作作曲家シューマン&リスト

《ロマン派》と銘打った今回のリサイタルツアーは所沢ミュージックからスタートします。ロマン派を代表する大作曲家シューマンとリストの作品を取り上げますが、シューマンはロマン派のなかでも特に繊細で表情を持っており、その特徴を一言で語るのとはとても難しいのですが、彼の作品を通して、愛、情熱、幻想、など様々なことを考えさせられます。シューマンを演奏するたびに、クラシック音楽の楽曲の背景の大切さや、当時作曲者が何を考えたどのようなことに影響を受けていたのか、演奏するうえでとても大切なことを教えてくれる作曲でもあります。リストは、技巧的な「リゴレット・パラフレース」そして歌に溢れる「愛の夢」と幅広い表現をお楽しみいただけると思います。

◆所沢ミュージックでの久々のリサイタル


所沢ミュージックでの演奏は、リサイタル、オルフェウス室内管、アシケケナージさんが指揮するアイスランド響との共演など、どれも記憶に残っています。アークホールはとても広くて響きの良い印象で、素晴らしいホールだと思います。今回の公演は所沢での久々のリサイタルであると同時に、コロナウイルスと向き合うなかでのリサイタルです。大変な状況ですが、ぼくは音楽の力を信じています。お客様には、そのときにしかない生の演奏をぜひ楽しんでいただければ幸いです。皆様にお会いできることを楽しみにしています。

大和証券グループ presents
辻井伸行日本ツアー 2021 《ロマン派》

2021年1月31日(日)
13:00開場 14:00開演
アークホール **好評発売中**

料金◆S席:¥7,700 A席:¥6,600 B席:¥5,500
曲目◆シューマン:蝶々
シューマン:子供の情景(全13曲)
リスト:リゴレット・パラフレース
リスト:愛の夢 第3番
リスト:メフィスト・ワルツ 第1番
(途中休憩なしの約1時間のコンサートです)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミュージックの公式ホームページでご確認ください。



© Yuji Hori



「笑顔で会える日のために」を収録の最新アルバム



2018年、所沢ミュージックで巨匠アシケケナージ&アイスランド響と共演



2013年、イギリスの「プロムス」では7000人の聴衆を魅了した



2011年のカーネギーホール公演は最も思い出に残る公演



2009年、ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで優勝を果たした



1997年にはモスクワ音楽院で国際デビューを飾った



サイトを前に、ピアノとの出会いから現在の想いまで話を聞いた。



母の歌に合わせて2歳でおもちゃのピアノを弾き始めた

世界を魅了する美しいヴァイオリン

千住真理子

Mariko Senju, Violin [ヴァイオリン]

INTERVIEW

2020年にデビュー45周年を迎えたヴァイオリニスト、千住真理子。名器デュランティと運命の出会いを果たした名手の幼少期、デビューを飾ったそのいきさつ、コロナ禍のいま音楽と向き合い思うことなど、多岐にわたって語っていただいた。

母との思い出 ヴァイオリンとの出会い

我が家はとても賑やかな家庭でした。母はYMCAで長年リーダーをやっていた人ですから、子どもたちと遊ぶのが本来得意だったのでしょう。毎日が楽しく、毎日が冒険、お庭でおにぎりを食べるだけでもまるでピクニックに出かけたかのようでした。そんな母でしたので、母がいてくれれば当然ヴァイオリンを練習する時間も楽しくて仕方がなく、良い思い出ばかりです。母の即興の作り話やミュージカルもどきにお腹を抱えて笑いながらヴァイオリンをさらいました。長男で日本画家の博、次男で作曲家の明、2人の兄がヴァイオリンをすでに習っていました。2人に対して羨ましい気持ちを持ったのを覚えています。ですから一般より早く、2歳3カ月の、まだ赤ちゃんのうちに小さな赤ちゃん用ヴァイオリンを弾き始めました。2人の兄とはいまでも励まし合う良い関係です。



2歳3カ月でヴァイオリンを始め、幼少期より才能を発揮



小学5年生の時、全日本学生音楽コンクールで優勝したトロフィーを手に驚見三郎先生と

12歳でデビュー！世界で活躍

デビューのきっかけは、1973年に日本学生全国ヴァイオリンコンクールで全国優勝したことです。それがチャンスとなって、NHK交響楽団との共演によるデビューが決まったのです。1985年には指揮者のジュゼッペ・シノーポリに認められ、1987年にフィリハーモニア管弦楽団定期演奏会でロンドンデビューも果たしました。これは偶然のチャンスでした。イギリスのホールでリハーサルをしていたのを、マエストロ・シノーポリがたまたま聴いて、それがオーディションとなり、その場でデビューが決まったのです。1999年にはニューヨーク・カーネギーホールでソロ・リサイタルを開きました。無伴奏リサイタルによるデビューはイザイという難曲を抱えて心細いものでしたが、聴衆の温かい雰囲気、清々しいコンサートを終えて成功を収めることができました。

幻の名器「デュランティ」

2002年、幻の名器ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出逢いを果たしました。これは私がヴァイオリニストとして生きてきて、このうえない素晴らしい出逢いでした。

このデュランティの最初の所有者はローマ法王グレゴリオ14世であり、法王の没後約200年間フランスのデュランティ家の家宝として納められ、その後約80年間スイスの公爵のもとにあったそうです。しかし私はこの楽器の由来に惚れたのではなく、音に惚れてしまいました。人生観も変わりました。約18年「デュランティ」を愛用して、いまやデュランティなしの人生は考えられませんが、デュランティほどの素晴らしいストラディヴァリウスを与えられたからには、もう何も望むものはありません。もはやデュランティは単なる楽器ではなく、生き物だと思いません。

心に響く音楽を求めて

アウトリーチでの演奏活動も精力的に行っています。福島県富岡漁港での復興支援リサイタルや、小学校・中学校、老人ホームでの演奏会など…。そこには生まれて初めてクラシックやヴァイオリンを聴く方々が大勢いらっしやいます。言葉では言い表せないくらいの幅広い音楽の素晴らしさを感じてほしいと願っています。2020年に入り、コロナウイルスの影響で自粛生活となった半年は、すべてのコンサートが中止や延期になり、ただ一人黙々と練習するばかりの日々でした。自分自身

共に音楽を体感する幸せ

と絶えず向き合い、生きる意味、死ぬこと、音楽とは何か…音楽の価値を問い続けた日々です。そんな日々を過ごしたからこそ、今後も1人でも多くの方に音楽の素晴らしさを届けたいと思っています。

今回のコンサートは、親しみやすい作品から技巧的な作品まで名曲を用意しています。クラシック音楽の素晴らしさを味わっていただきたく、トークを混ぜながらのステージにしたいと思っています。楽しく聴いていただけたら嬉しいです。デビューから45年を向かえたいま、「いまここに共にいる実感」「共に音楽を体感する幸せ」「生きる喜び」を届けたい！という想いが溢れています。所沢ミュージズでのコンサートは2017年のコンサート以来4年ぶりですが、アークホールは素晴らしい響きのホール！弾くのが待ち遠しいです！

千住真理子 [ヴァイオリン] 丸山滋 [ピアノ]

2021年3月20日(土)
14:15開場 15:00開演
アークホール

好評発売中

料金◆全席指定 S席:¥3,500 A席:¥3,000
曲目◆J.S.バッハ:アリオース
ベートーヴェン:ロマンズ 第2番
モンティ:チャルダッシュ ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミュージズの公式ホームページでご確認ください。



芸術家として活躍する2人の兄。画家の博さん、作曲家の明さんと



千住真理子の才能を見抜きロンドン、ローマ・デビューで共演した巨匠シノーポリ



1997年頃、音楽家へと導いてくれた最愛の母・文子さんと



震災復興のためボランティアで演奏活動を行った。文化大使としても世界中で演奏を行っている



ローマ法王が所有していたこともある1716年製のストラディヴァリウス「デュランティ」

バンドネオンの若手の旗手として目覚ましい活躍を繰り広げる三浦一馬が、今年デビュー15周年を迎える。自ら結成した「東京グランド・ソロイスツ」を率い、生誕100年のメモリアルイヤーを迎えるオール・ピアノ・プログラムに挑む！

音楽に囲まれた幼少期 バンドネオンとの出逢い

両親がピアニストで、いつも音楽に溢れた家庭でした。ピアノの下に潜って両親が弾くピアノの音を聞いたり、おもちゃ感覚でピアノに触っていたのがよかったのだと思います。6〜8歳の頃、家族でイタリアに移住したりと音楽的にもいろいろな刺激を受けました。10歳のとき、NHKテレビで偶然バンドネオンの番組を見て一目惚れ。体に電流が流れるような衝撃を受けました。後に師となる小松亮太さんのミニライブで「バンドネオンが弾きたい！」と直談判したところ、数日後に小松さんがご自身の楽器を自宅に送ってくださったのです。プチプチの梱包を開封し、バンドネオンを持ち、何も考えずにボタンを触った瞬間、最も低い「ド」の音が鳴り、その振動、重さで初めて実際の楽器を感じました。ゾクゾクした記憶が、いまでも鮮明に思い出されます。

16歳で決意のプロ・ピアニスト 恩師マルコーニと出逢い

楽器に出逢って以来、いろいろなコンサート

三浦一馬

Special Interview

[バンドネオン]

Kazuma Miura, Bandoneon

に出演させてもらいましたが、曖昧だった自分のポジションを打開したくて、16歳で「プロ・デビュー」と銘打って公演を開催しました。と言っても、チラシなどもすべてが手作り。いま思うと恥ずかしいですが、当時はすべてを出し切った公演でした。ピアノ・スタイルのコンフロント・ヌエベ（9重奏）やアコンカグア（協奏曲）など、ずいぶん贅沢なことをさせていただきました。高校1年生の春休みに、憧れの巨匠マルコーニさんが来日すると知って別府に行きました。行き当たりばったりで、打ち上げ中のところに飛び込み演奏を聴いていただいたところ、翌日以降の空き時間もホテルでレッスンをしてくださいました。以来、マルコーニさんとのご縁は続いており、デビュー10周年公演にはマルコーニさんを日本に招いてのツアーも敢行しました！

悔しいコンクール準優勝 アルゲリッチとの共演

2008年に国際ピアノ・コンクールで

までに引き込まれ、のめり込んでしまう音楽はほかにあるだろうか毎回感じます。後世の我々が聴いて丁寧に分析しても、この曲はこうでしかありえない、完璧だ、と思わされる部分が多い。構成、メロディの魅力など、楽曲分析をしても緻密に、かつ確固たるピアノの色を伴って作曲されていることに畏怖の念を感じます。

2017年に結成！ 東京グランド・ソロイスツの魅力

時代に即したピアノ・サウンドを表現できないか、と漠然と思っていました。本家本元ピアノの演奏も素晴らしいし、クラシック界でのブームを経たのでクラシック奏者による演奏も素晴らしい。その両方の良さを自分というフィルターを通じて表現したいと考えていました。2017年に旗揚げした東京グランド・ソロイスツの魅力は、ピアノのサウンドに新しい息吹を吹き込む、最も新しいスタイルであること。僕のいろいろな演奏形態のフラッグシップと言えます。これまでの

様々な共演者、様々なレパートリーも含め、現在における集大成です。とにかく、気持ちよくメンバーに弾いてもらうことを意識しています。編曲する際は「当て書き」のように、誰がどのように弾くかも考えながら楽譜に向かっています！

所沢ミューズ公演に向けて

所沢では、いつも温かい印象とエネルギーを客席からいただいています。特に印象的だったのは所沢市役所の公演で、ロビーから溢れんばかりのお客様が最後まで記憶に残っています。実はまだアークホールでは演奏したことがないので、その点も楽しみなことの一つです。ピアノ・イヤーという特別な年に一番自信を持ってお届けできる東京グランド・ソロイスツの公演が実現したことが何より嬉しいですし、プログラムも名曲揃い！どこを切り取ってもお楽しみいただける自信があります。東京グランド・ソロイスツの所沢ミューズ初公演、ぜひお楽しみにお待ちください！



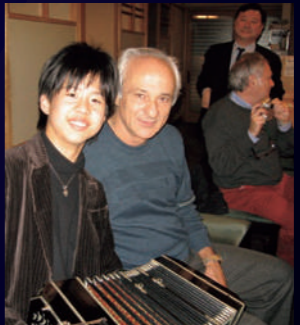
準備勝しました。こんなことを言うと怒られるかもしれませんが、発表されるまで優勝するつもりだったので、ただただ悔しかったです。そのときの写真は悔しそうな顔になっていると思います（笑）。2015年、ずっと憧れだった「第25回出光音楽賞」を受賞したときは夢かと思いました。マネージャーから電話があり、周囲を気にせず「ウソ〜！？」と叫んでしまいました。これまで多くの素晴らしい共演者と演奏させていただきましたが、2011年のアルゲリッチさんとの共演は特に印象的でした。震災の影響でマルコーニさんの来日がキャンセルになり、マルコーニさんの分まで共演させていただきました！

憧れのピアノ生誕100年

今回はピアノの生誕100年を記念するツアー。一言で言うなら、僕にとってピアノは神でしょうか。曲を聴けば聴くほど、知れば知るほど驚くばかりで、こんな音楽をよく書いたなと感じています。これほど



6歳から家族でイタリア移住した幼少期。音楽的にたくさんの刺激を受けました



高校1年生、マルコーニに会いに別府へ。打ち上げ中の寿司屋で初めて出逢い、記念撮影



2008年「国際ピアノ・コンクール」準優勝。優勝するつもりだったので、ただただ悔しい気持ちでいっぱい



2011年「アルゲリッチ音楽祭」にて巨匠アルゲリッチと共演。来日がキャンセルとなってしまったマルコーニの分まで一生懸命弾きました



2017年結成「東京グランド・ソロイスツ」のリハーサル風景。ピアノ・サウンドに新しい息吹を吹き込む、最も新しいスタイルを追求



長年愛用している、師匠マルコーニから譲り受けたバンドネオン。1938年製「Alfred Arnold」

ピアノ生誕100年記念
三浦一馬 [バンドネオン]
東京グランド・ソロイスツ 好評発売中

2021年3月21日(日)
14:15開場 15:00開演 アークホール

料金◆S席:¥4,500 A席:¥4,000
曲目◆《オール・ピアノ・プログラム》
悪魔のロマンス / プエノスアイレスの冬
アディオス・ノニーノ ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※新型コロナウイルスの感染状況により公演中止の可能性がございます。最新情報は所沢ミューズの公式ホームページでご確認ください。



ステージレポート Stage Report

10月17日
~12月12日

2020

10/17(土)

人形浄瑠璃 文楽

〈マーキーホール〉
出演／【太夫】豊竹呂太夫
【三味線】鶴澤清治(人間国宝)
【人形】桐竹勤十郎 ほか



東京六人組



人形浄瑠璃 文楽

18(日)

東京六人組

〈マーキーホール〉
出演／上野由恵[フルート]、荒 絵理子[オーボエ]、金子 平[クラリネット]
福士マリ子[ファゴット]、福川伸陽[ホルン]、三浦友理枝[ピアノ]
曲目／ラヴェル:ラ・ヴァルス(所沢ミューズ&アクロス福岡 委託編曲)
ダンディ:サラバンドとメヌエット
プーランク:六重奏曲 ほか

所沢ミューズに2年ぶりの登場となった東京六人組。今回の公演では「ラヴェル:ラ・ヴァルス」(所沢ミューズ&アクロス福岡委嘱)を初披露!日本トップクラスの奏者が織りなす、色彩的なハーモニーと豊かな表現が多く聴衆を魅了しました。



小野リサ

31(土)

小野リサ コンサート 2020 Love Joy and Bossa Nova

〈マーキーホール〉
出演／林 正樹[ピアノ]、織原良次[ベース]、斉藤 良[ドラム]

11/28(土)

NBA バレエ団「眠れる森の美女」(ダイジェスト版)

〈所沢まちづくりセンター ホール〉



NBA バレエ団

12/6(日)

神田伯山[講談] 独演会

〈マーキーホール〉

所沢ミューズ初登場の神田伯山による独演会。いま最も勢いのある講談師として人気の伯山は、「青龍刀権次」「赤穂義士銘々伝～神崎与五郎の詫び証文」など気迫溢れる講談で会場全体を沸かせました。なんと所沢ミューズで立川談志師匠の「らくだ」を聴き、この世界を志すきっかけとなったという貴重なお話も飛び出しました。

12(土)

宮田大 チェロ・リサイタル

〈マーキーホール〉
出演／西尾真実[ピアノ]
曲目／ファリャ:恋は魔術師、
サン・サーンス:白鳥
ピアノ:オプリピオン ほか

国際派チェリストとして活躍を続ける宮田大。今回は様々な国の作曲家の物語性豊かな名曲を、雄大なチェロの演奏と、西尾真実の多彩なピアノの音色で表現しました。

また、来場されたお客様に宮田大から特別な演奏のプレゼントも…。会場は温かい拍手に包まれました。



宮田大



神田伯山

写真撮影(市民カメラマン)/三平資郎(10/17、12/6)、津田資雄(10/18、12/12)、由井一雄(10/31)、佐藤清一郎(11/28)

編集後記

明けましておめでとうございます! 新年になると、「今年は何なことをしよう」「〇〇を始めよう」と心躍るのですが、飽きっぽい私はいつも目標半ばで続きません。今年こそは1年続けられることを見つけないと思います! と言いつつ、目標を考えるだけで満足する私なのでした。(W)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター

04-2998-7777

●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約

所沢ミュージズ

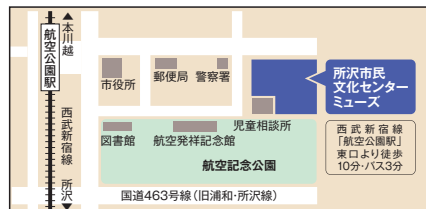
検索



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。

<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



*公演情報は2020年12月21日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

今回のインフォ・マートは2021年3月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。